



保護者向け保健だより No.4

○ヘルパンギーナの注意喚起について○

日頃は竜神中学校の教育活動へのご理解とご協力ありがとうございます。

さて、豊田市保健所より6月中旬頃からヘルパンギーナの患者数が増加しているとの連絡が来ました。豊田市では警報レベルの6.0を超える数値となっています。以下をよく読み、ご家庭でも感染予防にご協力ください。

期間	愛知県	豊田市
令和5年5月29日～6月4日	1.33	1.00
6月5日～6月11日	2.74	3.22
6月12日～6月18日	4.51	9.11

【ヘルパンギーナとは】

ヘルパンギーナは発熱と口の中や手足などに水疱性の発疹が出る、ウイルスの感染によっておこる感染症です。5歳以下の乳幼児を中心に、主に夏に流行します。コロナ禍で集団免疫を獲得する機会が少なく、年齢を問わず感染が流行しています。

【感染経路】

飛沫感染、接触感染、糞口感染が知られています。この病気にかかりやすい年齢層の乳幼児がいる家庭は特に注意が必要です。

【症状】

感染してから2～4日後に、高熱や咽頭熱、咽頭発赤があり、口の中に水疱や発赤が現れます。高熱による倦怠感や口腔内の痛みなどから食事や水分をとれず脱水になることがあります。

【予防対策】

ヘルパンギーナには有効なワクチンはなく、発病を予防できる薬もありません。治った後でも比較的長い期間、便などからウイルスが排泄されます。一般的な感染対策は以下の通りです。

- ① 石けんを使って、手洗いをしっかりと行う(特にトイレのあと)
- ② 排泄物を適切に処理する(オムツを使用している乳幼児がいる家庭)
- ③ 症状がある人との密接な接触を避け、箸やタオル等の共有はしない
- ④ 症状が現れたら、無理せず休養し早めに医療機関を受診する

発熱やのどの痛み、咳など普段と違う症状がある場合、無理に登校せず自宅療養や医療機関受診をお願いします。

ヘルパンギーナ以外にも新型コロナウイルス、インフルエンザ、感染性胃腸炎など様々な感染症が流行中です。家族みんなでうがい手洗いを徹底し、規則正しい生活で免疫力を高めていきましょう。学校でも注意喚起、教室の常時換気、うがい手洗いを徹底して行うようにしていきます！

○夏休み期間での治療のお願い○

夏休みまであと1週間となりました。「受診のお知らせ」を受け取り、すぐに受診していただいた保護者の皆様、ご協力ありがとうございます。

中学3年生は【医療費控除】によって無料で治療ができる最後の年です。歯科治療など時間がかかる治療は、夏休みを利用して治療することをお勧めします。治療が終えましたら「受診報告書」を保護者の方が記入し、夏休み明け学校に提出してください。

